

がんになっても安心して暮らせる社会を目指して

がん患者さんの暮らしが広がる アイデア展 2014

主催  独立行政法人国立がん研究センター

共催  NPO法人キャンサーリボンズ

開催報告書

2014年6月28日(土) 29日(日)

10:30~16:30

国立がん研究センター築地キャンパス中央病院

2014年7月

独立行政法人国立がん研究センター
NPO法人キャンサーリボンズ

実施概要

- ◆イベント名 がんになっても安心して暮らせる社会を目指して
「がん患者さんの暮らしが広がるアイデア展2014」
 - ◆開催日 2014年6月28日(土) 29日(日) 10:30~16:30
 - ◆会場 国立がん研究センター 築地キャンパス 中央病院ロビー(中央区築地5-1-1)
 - ◆参加者数 28日(土) 350人、29日(日) 400人 計750人
-

【主催】 独立行政法人国立がん研究センター

【共催】 NPO法人キャンサーリボンズ

【協賛】 味の素株式会社
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
イーエヌ大塚製薬株式会社
花王株式会社
サンスター株式会社
株式会社ジャンパール
株式会社スヴェンソン
テルモ株式会社
ロート製薬株式会社

【寄付】 株式会社イノメディックス
片岡物産株式会社
QOL総合研究所株式会社

(五十音順)

会場図

2F ①やすらぐ

- ・手浴&ハンドマッサージ体験
- ・足浴体験
- ・休息を助ける工夫
- ・リラクゼーションを助ける製品紹介

②排泄

- ・排泄ケア
- ・おむつ、パッドの上手な使い方
- ・皮膚トラブルなどのお悩み解決法

1F ③イベント・セミナースペース

④装う

- ・頭皮ケアのポイント紹介
- ・ウィッグや帽子のお試しや使い方
- ・スキンケアと傷跡ケア
- ・メイク用品、ネイルケアの紹介
- ・乳がん手術後の補正下着の紹介

⑤身体を動かす

- ・簡単お掃除製品や体の動きを助ける製品紹介
- ・入浴時の補助用品の紹介

⑥働く

- ・働きながら治療を続けるための情報

⑦食べる

- ・食欲がない、味覚が変わったなどのときのお助けメニュー紹介
- ・食べにくいときや、飲み込みが難しいときの食品の紹介
- ・試食コーナー
- ・口腔ケア、口渇対策グッズの紹介

⑧リンパ浮腫

- ・セルフマッサージ、弾性ストッキングなど

⑨コスメティックインフォメーション

⑩がんと暮らしの相談コーナー

⑪がんの情報コーナー

⑫がんサリボンスコーナー

⑬七タメッセジスペース



※会場外への立ち入りはご遠慮ください。

♿ ... トイレ ♿ ... 車いす用トイレ ♿ ... 白標販売機

当日プログラム

がんになっても安心して暮らせる社会を目指して がん患者さんの暮らしが広がるアイデア展2014

平成26年6月28日(土)・29日(日) 10:30~16:30 国立がん研究センター築地キャンパス 中央病院ロビー

がん患者さんが感じている、生活の不便さを解消するアイデアを集めたイベントです。今年は第3回を迎え、展示に新たなテーマ「動く」を追加しました。患者さんとそのご家族が快適に暮らすための様々なアイデア・工夫・情報のご紹介と、暮らしに役立つセミナーを開催し、皆さまとともに「がん患者さんの暮らし」を考えます。

主催 独立行政法人国立がん研究センター 共催 NPO法人キャンサーリボンズ

オープニングセレモニー

6月28日(土) 10:30~11:00

【ごあいさつ】 理事 堀田知光 職員の出場によるオープニングコンサート

イベント

6月28日(土) 15:40~16:20

トークショー

ファッションデザイナー コシノジュンコさん 「いきいきと着よう」

女性がん患者さん支援を行う「ハートプロジェクト」活動の一環で、着物のデザイン監修もしているコシノさんが、おしゃべりの魅力や患者さんの気持ちを引き立てる装いについて話ります。

当日定員 着席70名(15:00より整理券配布)



6月29日(日) 15:45~16:15

フィナーレコンサート

山田邦子さん率いる「スター混声合唱団」

がん撲滅を目指して歌う合唱団が、歌と楽しいトークを皆さまにお届けします。元気あふれるステージがイベントのフィナーレを飾ります。

当日定員 着席70名(15:00より整理券配布)



パネルディスカッション

6月29日(日) 13:30~14:40

テーマ「がんと動く」

がん体験者・医師・看護婦・ソーシャルワーカー・産業医をパネリストに迎え、それぞれの視点から、動きながら治療を続けるためのご意見を伺い、ディスカッションを開催します。

コーディネーター 国立がん研究センターがん対策情報センター がんケアパートナーシップ支援研究部長 高橋 都さん

NPO法人キャンサーリボンズ 副理事長 岡山 慶子さん

協賛 味の素株式会社 アフラック(アメリカファミリー生命保険会社) イーエヌ大塚製薬株式会社 花王株式会社 寄付 株式会社イメテックス 片岡物産株式会社 QOL総合実践研究株式会社 サンスター株式会社 株式会社ジャンパール 株式会社スヴェンソン テルモ株式会社 ロート製薬株式会社



がんになっても安心して暮らせる社会を目指して がん患者さんの暮らしが広がるアイデア展2014

暮らしが広がる展示コーナー

毎日の生活の不便さを解消し、暮らしに役立つ製品や工夫を生活シーンごとのブースでご紹介し、体験いただけるコーナーです。

1F ●食べる ●装う ●身体を動かす ●動く ●リンパ浮腫 2F ●やすらく ●排泄

がんと暮らしの相談コーナー

専門看護師や認定看護師などによる、「暮らし」に関する相談コーナーです。毎日の生活の中でのお困りのことや気になっていることを、国立がん研究センターのスタッフにお気軽にご相談ください。(11:30~15:30 予約不要)

がんの情報コーナー

がんについて信頼できる、最新の正しい情報をわかりやすく紹介する冊子や資料を展示します。

セタメッセージスペース

短冊に願い事を自由に書いて、セタの笹飾りに飾っていただくコーナーです。

会場案内



※会場外への立ち入りはご遠慮ください。

① トイレ ② おむつ交換台 ③ 授乳室 ④ ベビーベッド

独立行政法人国立がん研究センター 〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
TEL.03-3542-2511(代表) 国立がん研究センターホームページ <http://www.ncc.go.jp/>
がん情報サービス <http://ganjoho.jp/>

NPO法人キャンサーリボンズ 〒104-0045 東京都中央区築地2-12-10
築地MFビル26号館5F 朝日ビル内 TEL.03-3548-6101
キャンサーリボンズホームページ <http://www.ribbonz.jp/>

10:30~10:45

オープニング・ご挨拶

病院長 荒井 保明さん

理事長 堀田 知光さん(VTRにて)

オープニングでは、病院長の荒井保明さんより、主催者を代表して挨拶がありました。また理事長の堀田知光さんからのビデオレターを紹介させていただきました。



10:45~11:00

オープニングコンサート

職員有志

オープニングコンサートでは、今年看護師になった職員がおもてなしの気持ちを込めて明るく、元気に合唱を披露しました。一生懸命歌う職員と一緒に歌を口ずさんでいる参加者が多く見られました。



11:20~11:50

治療中も快適に！頭皮ケア・アドバイス

株式会社スヴェンソン

国際毛髪科学研究会 会長

井上 哲夫さん

毛髪の基礎知識、化学療法前～治療終了まで、快適に過ごしていただくための、頭皮ケアの重要性やお手入れのコツなどについてお話しいただきました。講師の手の動きに合わせて、会場の参加者も一緒に頭皮マッサージを行い、頭皮を健康に保つコツを学びました。



12:10~12:40

放射線治療の話

国立がん研究センター中央病院

外来Ⅱ 副看護師長

松原 昌代さん

放射線とはどのようなものか、放射線治療の目的・流れなどについて写真も用いて、分かりやすくご講演いただきました。現在治療中の方、これから治療を始める方が熱心にご覧になり、学ばれている姿が印象的でした。



13:00~13:30

乾燥性敏感肌のためのスキンケア・アドバイス

花王株式会社

シニアビューティーセラピスト

久保 久子さん

肌の状態を良好に保つことは患者さんにとって欠かせません。このセミナーでは、誰でも簡単にできるスキンケアについて、実際にスキンケア製品を使いながらアドバイスをを行いました。参加者はスクリーンに映る講師の動きに合わせて実践しながら、スキンケアのコツを習得。改めて日頃からスキンケアをすることの大切さを実感していただけるセミナーでした。



13:50~14:30

抗がん剤治療教室

国立がん研究センター中央病院

がん化学療法看護認定看護師

高平 奈緒美さん

抗がん剤治療は、初めて治療を受ける患者さんにとって大変不安が大きい治療です。ここでは、抗がん剤治療を行う際に出現する副作用や症状、対処法について、パワーポイントを用いて分かりやすくご講演されました。特に副作用への対処法やそれをやわらげる生活上の工夫のアドバイスは、患者さんだけでなく、ご家族の方にも参考にしていただける内容でした。



14:50~15:20

がん治療中でも食事をおいしく楽しむヒント

味の素株式会社

イノベーション研究所

河合 美佐子さん

治療中は、抗がん剤の影響で食欲が出ない、味覚が変化するなど、食事についての悩みを抱える方が少なくありません。このセミナーでは治療中の食事をよりおいしく感じられる、味つけのヒントをご紹介します。また、食環境を整えることの大切さについてお話いただくと、多くの参加者がうなずきながらお聞きになっていました。



15:40~16:20

トークショー「いきいきと装う」

ファッションデザイナー コシノ ジュンコさん

(聞き手 NPO法人キャンサーリボンズ副理事長 岡山 慶子さん)

整理券配布開始前から多くの方が並んで待っていた、コシノジュンコさんのトークショー。いつもパワフルなコシノさんから、どんな時でもおしゃれを楽しむことの大切さ、装うことで気持ちも変わるというメッセージや、コシノさんのご家族のエピソードなど、普段なかなか聞くことができないお話が伺えました。満席の会場で、患者さんやご家族、全ての皆様が熱心に聞き入っていました。コシノさんが出演されたNHK群馬のTV番組が紹介された際には、日本の絹の素晴らしさを実感し、肌にやさしいもの、身につけて嬉しくなるものを選ぶことが、心地よさにつながることを皆で共有しました。コシノさんが最後に語られた『日々の出来事に感謝をしましょう。「ハレルヤ」』という言葉が印象的な、笑顔があふれるトークショーとなりました。



イベント・セミナー6月29日(日)

①

11:00~11:30

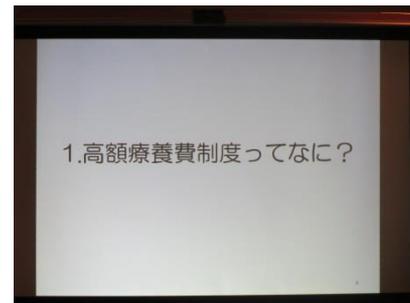
がんとお金の話

国立がん研究センター中央病院

相談支援センター ソーシャルワーカー

宮田 佳代子さん

治療はもちろんですが、お金の事もとても重要です。このセミナーでは、がんを治療する上で活用できるお金の制度や、医療費控除のできるもの、できないものなど、分かりやすい内容でご講演いただきました。講演を聞きながら、ペンを走らせる姿が多く見られました。



11:50~12:30

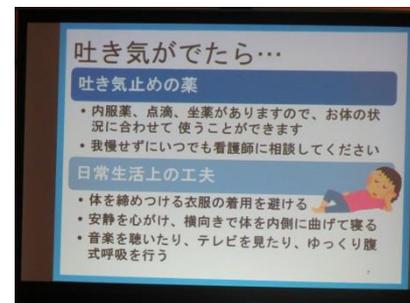
抗がん剤治療教室

国立がん研究センター中央病院

がん化学療法看護認定看護師

朝鍋 美保子さん

1日目に引き続き、2日目も抗がん剤治療に伴う副作用や症状・対処法についてパワーポイントを用いて分かりやすくご講演いただきました。2日目も多くの患者さんとご家族にご参加いただきました。



12:50~13:20

治療中のお口のトラブルと口腔ケア

国立がん研究センター 中央病院

摂食嚥下障害看護認定看護師

鈴木 恭子さん

日頃から、そして治療前から口腔ケアを行うことで、がん治療に伴う口腔トラブルが軽減できることを、まずご説明いただきました。その上で、症状も人それぞれのため、症状にあったケアの方法を学び、実践することの大切さと具体的な注意点をアドバイスしていただきました。現在治療中の方が熱心に耳を傾けている様子が見られました。



13:30~14:40

パネルディスカッション「がんと働く」

【パネリスト】

- 人見 茂さん(がん体験者)
- 棕田 千絵さん(がん体験者)
- 田村 研治さん(医師)
- 工藤 礼子さん(看護師)
- 宮田 佳代子さん(医療ソーシャルワーカー)
- 荒木 葉子さん(産業医)

【コーディネーター】

- 高橋 都さん
(国立がん研究センター がん対策情報センター
がんサバイバーシップ 支援研究部部長)
- 岡山 慶子さん
(NPO法人キャンサーリボンス 副理事長)



がん体験者、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、産業医をパネリストに迎え、「働きながら治療を続けるためには」というテーマでディスカッションを展開しました。まずは、がん体験者のお2人から、体験したからこそ実感のこもった内容を具体的に語っていただきました。それを受けて、医師・看護師・ソーシャルワーカー・産業医から、それぞれの視点で、患者さんに向けた提案をしていただきました。患者さんの体験をもとにした、ディスカッションは会場の多くの皆様の共感を呼び、参加者全員で、改めて「がんと働く」ことについて考える時間となりました。



高橋 都さん
(コーディネーター)
国立がん研究センター
がん対策情報センター
がんサバイバーシップ
支援研究部部長

人それぞれ、働き方は状況が全く違うので、人の働き方をまねて自分も働くということは難しいと思います。今日はお2人の体験者、そして医療者から、たくさんの意見を聞いて今後に進んでいくためのヒントとし、皆で考える時間にしたいと思います。仕事と治療の兼業患者になる余地があっても、治療の専業患者になってしまいがちです。仕事と治療の調和に向けて、相談支援センターなど、様々な支援や情報が活用できます。どうぞ是非ご相談ください。



岡山 慶子さん
(コーディネーター)
NPO法人キャンサーリボンス
副理事長

NPO法人キャンサーリボンスでは、2008年設立以来、「がんと働く」を大きなテーマとして活動してきました。何より、働くということについて、この国立がん研究センターで真剣に研究や実践をしていることが大きな変化だと思います。今日は、がんの患者さんを支える様々な立場の皆様「働く」ことについてのご意見を伺いたいと思います。昨日のコシノジュンコさんのトークショーでは「思っていることを口に出すことの大切さ」を伺いました。患者さんが思っていることを、まず口に出せる環境を作りたいと思います。

(続き)がんと働くパネルディスカッション



棕田 千絵さん
(がん体験者)

2002年に直腸がんと診断され人工肛門になりました。退院後2か月で職場復帰しましたが、とても不安でした。治療や体調についてできるだけ職場の上司や同僚に話すことにしています。その際、明るく軽く話すことを心掛けています。またがんになって価値観・人生観が変わり、転職も経験し、現在は障がい者雇用枠で働いています。転職時の面接でも、オストメイトで排便やおならのコントロールができないことをはっきりと伝えました。抗がん剤治療時には休む前の日にミーティングで皆に休むことを伝え、治療が終わったら電話で会社に連絡をいれるなど、コミュニケーションを心掛けています。



人見 茂さん
(がん体験者)

私は英語の教員で、60才の時、人間ドックで肺がんと診断されました。頭が真っ白になり、まず、仕事をどうするかを考え、上司に最初に話しました。それから、英語科の先生方だけでなく、当時担当していた進路指導部の他の先生方にサポートをお願いしました。仕事はチームでやっているの、その仲間に、自分がどこまで何ができるかを話すことは大事でした。定年後、仕事は65才まで延長し、現在も講師をしています。職業柄、生徒から元気ももらっていますし、働いていなかったら気が滅入ってしまったと思います。無理してでも動けることは自分で動こうとしたのが良かったと思います。



荒木 葉子さん
(産業医)
荒木労働衛生コンサルタント
事務所 所長
NPO法人キャンサーリボンス
理事

産業医の仕事は、会社の中で健康管理をすることです。今はがんになって復職する人が増えてきています。私は、病院にいる時の「患者さん」の役割から会社員として「働く人」の役割へ、心と身体の転換をうまく支えたいと考えています。そのために、NPO法人キャンサーリボンスで治療現場と会社を結ぶためのツールを開発しました。患者さんがどのような働き方をしたいのか、考えをまとめてもらったり、会社と交渉するなど、是非活用していただければと思います。



田村 研治さん
(医師)
国立がん研究センター
中央病院
乳腺腫瘍内科 科長

私は抗がん剤の専門医ですが、がんと就労について、医者側の配慮と説明はまだ不足していると思います。抗がん剤の説明で精一杯で、患者さんの職業を知るのは治療導入後ということもあります。がんは不治のイメージがあり、治療に専念するあまり、仕事をやめてしまう方も少なくありません。私の患者さんでも、教師の方や旅行会社にお勤めの方で、仕事を微調整しながら続けている方がいます。相談支援室の相談員や看護師に、是非治療を受ける前に仕事について相談していただき、微調整してもらえればと思います。



工藤 礼子さん
(看護師)
国立がん研究センター
中央病院
皮膚排泄ケア認定看護師

私は皮膚排泄ケア認定看護師で、ストーマ外来で人工肛門や人工膀胱の患者さんに接しています。がんの患者さんは、自分が本当にやりたいことやどう生きていきたいのかを、病気をきっかけに見つめるようになります。働くこともその1つで、何のために自分はどのように働くかを考えて、決めていくことが大切です。ストーマ外来では、周りの人にどう理解してもらうかが大切と話しています。その時、自分を理解してもらうためには、相手を理解することも大切ですとのお伝えしています。



宮田 佳代子さん
(医療ソーシャルワーカー)
国立がん研究センター
中央病院 相談支援センター
がん専門相談員

相談員は生活の困りごとの相談に応じていますが、患者さんは「仕事の相談をどこにしていいいかわからない」という方が多いです。実際、相談にいらしても、「仕事の相談をしていいの？」という方もいます。職場に言えずに困ったり悩んだりしている方が非常に多いと感じています。まずはご自身の会社がどのような制度を持っているか、自分がどのような契約を会社と結んでいるかを確認しましょうとお伝えしています。それから、働き方についてご自分の希望を会社に伝えてみてくださいとお話しています。それによって希望が通った例もあります。

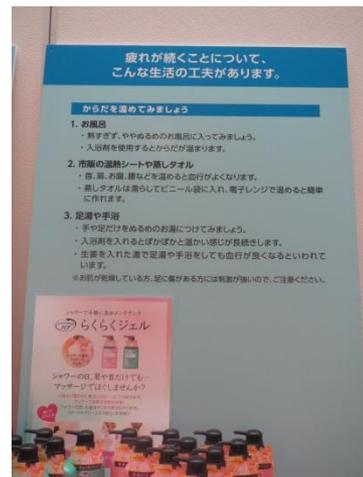
15:45~16:15 ファイナーレコンサート スター混声合唱団

整理券配布開始時間前より、長蛇の列ができたスター混声合唱団のファイナーレコンサート。『フニクリ・フニクラ スター混声合唱団バージョン』から始まり、メンバーが自己紹介をしている途中で、ラジオの生放送を終えた山田邦子さんが会場へ到着。会場では山田さんの登場に拍手喝采でした。山田さんの楽しいトークで会場は大いに盛り上がり、一緒に歌を口ずさむ人、手を叩く人、体を揺らしながら音楽にのっている人など、それぞれのスタイルで楽しんでいる姿が見られました。「がん支えあいの日」(6月21日)にちなんで、山田さん作詞・作曲のがん支えあいシンボルソング『あなたが大切だから』でクライマックスを迎え、最後の「手のひらを太陽に」では、合唱団の動きに合わせて皆で一緒に手話をしながら楽しく大きな声で歌いました。『がん患者さんの暮らしが広がるアイデア展』もファイナーレコンサートと共に、たくさんの笑顔で終わることができました。



① やすらぐ

- 手浴&ハンドマッサージ体験
- 足浴体験
- 休息を助ける工夫
- リラクゼーションを助ける製品紹介



② 排泄

- 排泄ケア
- おむつ、パッドの上手な使い方
- 皮膚トラブルなどのお悩み解決法
- 消臭グッズ紹介



④ 装う

- ・頭皮ケアのポイント紹介
- ・ウィッグや帽子のお試しや使い方
- ・スキンケアと傷跡ケア
- ・メイク用品、ネイルケアの紹介
- ・乳がん手術後の補正下着類の紹介



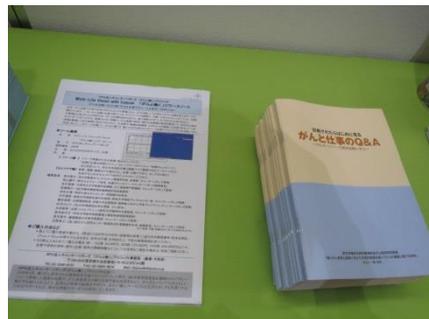
⑤ 身体を動かす

- ・簡単お掃除製品や体の動きを助ける製品紹介
- ・入浴時の補助用品の紹介



⑥働く

- ・治療をしながら働き続けるための資料の展示



⑦食べる

- ・食欲がない、味覚が変わったなどのときのお助けメニュー紹介
- ・食べにくいときや、飲み込みが難しいときの食品の紹介
- ・試食コーナー
- ・口腔ケア、口渇対策グッズの紹介



⑧リンパ浮腫

国立がん研究センター リンパドレナージ セラピスト

28日(土) 11:15~12:15

14:30~15:30

29日(日) 11:45~12:45

14:00~15:00

- ・セルフマッサージ、
弾性ストッキング等の展示
- ・リンパ浮腫ケア教室



⑨コスメティック インフォメーション

国立がん研究センター アピアランス支援センター

28日(土) 12:00~13:00

29日(日) 12:30~13:30

- ・ウィッグ・化粧品の展示
- ・外見変化への対処方法
をお知らせする楽しい
プログラムを実施



⑩がんと暮らしの相談コーナー

国立がん研究センターの専門看護師や認定看護師などに、毎日の生活の中でお困りのことや気になっていることなど「暮らし」に関することを相談できるコーナー

(11:30~15:30 予約不要)



⑪がんと情報コーナー

がんについて最新の正しい情報をわかりやすく紹介する冊子や資料を展示



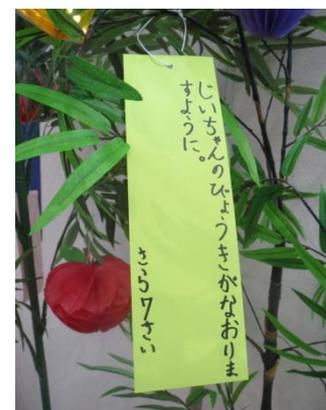
⑫ キャンサーリボンス
コーナー

NPOの紹介とともに、
朗読CDのご案内、「あなたが
大切だから」CD、「キレイ
の力」プロジェクトによる美
容ケアに関するDVDを配布



⑬ セタメッセージ
スペース

願い事を短冊に書いて、飾っていただく心温
まるコーナー



会場風景



昨年も大好評だった「生活の工夫カード」や「通院中バッジ」の展示・配布を行いました



スタッフの笑顔や丁寧な対応に、多くの方が笑顔で過ごされていました



各ブース、多くの方が立ち寄り、試飲や試食、商品を手にとったり、スタッフの方々と熱心にお話しをされる姿が見られました



展示品・企業一覧

安らく	味の素	グリナ
	花王	めぐリズムシリーズ
		バブ、バブメディケイティッド
シャワータイム バブ		
排泄	花王	リリーフ
		吸水セーフティ
		スマートガード
		サニーナ、泡サニーナ
		アタック消臭ストロング
		リセッシュ消臭ストロング
	アルケア	リモイスクレンズ
スミス&ネフュー	セキュラシリーズ	
持田ヘルスケア	コラージュ、コラージュフルフル	
身体を動かす	イノメディックス	入浴補助用品
	花王	クイックルワイパー、 トイレクイックル、食卓クイックル
	テルモ	活動量計
転倒予防靴下アップウォーク		

装う	花王	プリマヴィスタ
		オーブクチュール
		キュレル
		ビオレ泡ボディウォッシュ
	スヴェンソン	ウィッグ
		帽子・ヘアキャップ
		ETVOSメイクシリーズ
ZOYAネイルポリッシュ		
ジャンパール	つけ眉毛・つけまつ毛	
ロート製薬	バイオイル	
ワコール	肌ラボ、薬用ハンドベール、 サラフィットUV、リップベビー	
食べる	味の素	リマンマ
		メディミル味わい飲料
		メディミルスープ
		アクアソリタゼリー
		アミノケアゼリー
		献立カード
	イーエヌ大塚	グリナ
	テルモ	あいーと
	花王	テルミールシリーズ
		ペプチーノ
サンスター	ピュオーラシリーズ	
グロースリー	ディープクリーンシリーズ	
リンパ浮腫	ジョブスト	バトラー口腔ケアシリーズ
		スリーブ、グローブ
	メディ	ジョブストアームスリーブ、グローブ、 パンティストッキング、ハイソックス
		メデアーム スリーブ
		メディプラス パンティストッキング

■新聞掲載

朝日新聞 東京版 半五段モノクロ

1回目 6月 9日(月) 朝刊

2回目 6月10日(火) 夕刊

3回目 6月18日(水) 夕刊

がんになっても安心して暮らせる社会を目指して

がん患者さんの暮らしが広がる アイデア展 2014

主催 独立行政法人国立がん研究センター 共催 NPO法人キャンサーリボンズ



入場無料 平成26年6月28日(土)、29日(日) 10:30~16:30

国立がん研究センター築地キャンパス 中央病院 ロビー(東京都中央区築地5-1-1)

がん患者さんが感じている生活の不便さを解消するような工夫や身近な製品、セミナーなどの沢山のアイデアをご紹介します。患者さんとそのご家族、ご友人、がんに関わる医療者など、多くの皆様のご来場をお待ちしています。

●暮らしが広がる展示コーナー
不便さを解消し、生活に役立つ製品や工夫、情報を生活シーンごとに展示します。
●食べる ●装う ●身体を動かす ●働く ●やすらぐ ●排泄

●各種セミナー
毎日の暮らしにすぐに生かせるアドバイスを交えたセミナーを開催します。
●スキンケア ●頭皮ケア ●食事 ●口腔ケア
●リンパ浮腫のセルフマッサージ ●抗がん剤治療 ●コスメ

●がんと暮らしの相談コーナー
専門看護師、認定看護師へお気軽にご相談ください。
●がんの情報コーナー ●ヒタメッセージコーナー

アクセス
都営地下鉄 大江戸線
[築地市場]駅A1出口から徒歩3分
東京メトロ 日比谷線
[築地]駅 2番出口から徒歩6分
都営地下鉄 浅草線
東京メトロ 日比谷線
[東銀座]駅6番出口から徒歩7分
※お車でのご来場はご遠慮ください。
できるだけ公共交通機関のご利用の
ご協力をお願い申し上げます。



協賛 味の素株式会社 アブラック(アメリカンファミリー生命保険会社) イーエヌ大塚製薬株式会社 花王株式会社 サンスター株式会社
株式会社ジャンパール 株式会社スヴェンソン テルモ株式会社 ロート製薬株式会社
寄付 株式会社イノメディックス 片岡物産株式会社 QOL総合研究所株式会社

28日(土)

オープニングセレモニー 10:30~11:00
【ごあいさつ】理事長 堀田知光 職員合唱によるオープニングコンサート

トークショー 15:40~16:20
ファッションデザイナー コシノジュンコさん
女性がん患者さん支援を行う「ハートプロジェクト」活動の一環で、帽子のデザイン監修も行っているコシノさんが、おしゃれの魅力や患者さんの気持ちを引き立てる策について語ります。 ●当日先着順・着席70名(15:00より整理券配布)

29日(日)

パネルディスカッション 13:30~14:40
【がんと働く】がん体験者・医師・看護師・ソーシャルワーカー・産科医をパネリストに迎え、働きながら治療を続けるための、それぞれの立場からの意見を伺います。
コーディネーター/ 国立がん研究センターがん対策情報センター
がんサバイバーシップ支援研究部部長 高橋都さん
NPO法人キャンサーリボンズ副理事長 岡山慶子さん

フィナーレコンサート 15:45~16:15
山田邦子さん率いるスター混声合唱団
がん撲滅を目指して歌う合唱団が、歌と美しいトークを皆さまにお届けします。元氣あふれるステージがイベントのフィナーレを飾ります。
●当日先着順・着席70名(15:00より整理券配布)

イベントの詳細やタイムスケジュールなどは、
国立がん研究センターHPでご案内しています。 <http://www.ncc.go.jp/jp/>

お問い合わせ
「がん患者さんの暮らしが広がるアイデア展2014」事務局
(NPO法人キャンサーリボンズ内)
E-mail : ribbonz@ellesnet.co.jp TEL:03-3546-6101
受付時間:平日(土日除く)10時~17時

読売新聞

1回目 6月24日(火) 朝刊

がん患者の暮らし豊かに

28・29日、東京でアイデア展

がんになっても安心して暮らせる社会づくりに取り組もうと「がん患者さんの暮らしが広がるアイデア展2014」が28、29日、東京都中央区の国立がん研究センター中央病院で開かれる。

一昨年から毎年開催しており、今回で3回目。新たに「働く」というテーマで、治療と仕事の両立をサポートする制度や公的支援などを紹介する。患者と産業医やソーシャルワーカーらによるパネルディスカッション(29日午後1時半から)もある。

他に、乳がん手術後の補正下着や食欲不振の時のメニューなど不便さを解消するための工夫や製品も展示する。参加無料。問い合わせは、同展事務局(03・3546・6101)へ。

日本経済新聞

2回目 6月26日(木) 夕刊

健康がいとガイド

- がんに関する展示会とセミナー 国立がん研究センターが28、29日のそれぞれ午前10時半～午後4時半、同センター中央病院(東京・中央)で開く。「がん患者さんの暮らしが広がるアイデア展2014」として、患者の不便さの解消や軽減に役立つ製品を展示し、利用法などを指導する。また、働きながら治療を続けるのに必要なことなどを話し合うパネル討論などがある。個別相談コーナーも設ける。無料。事前の申し込み不要。問い合わせは共催のNPO法人キャンサーリボンズ@03・3546・6101。
- 心臓病などに関する公開講座 駿河台日本大学病院(東京・千代田)が28日午後1時半～3時、同病院3階講堂で開く。テーマは「突然死する心臓血管病 ～家族を守るために何をすべきか～」と「脳卒中診療の現状」の2つ。同病院の心臓血管外科や脳神経外科の医師が講演する。無料。定員は150人。事前の申し込み不要。問い合わせは同病院@03・3293・1711。
- 脳卒中の市民公開講座 日本脳卒中協会神奈川県支部が29日午後1時半～4時、聖マリアンナ医科大学の医学部本館6階大講堂(川崎市)で開く。テーマは「脳卒中! その時あなたはどうぞすればいいのか?」。脳卒中の予防や治療、発症時の対処法などについて、医師と救急隊員が説明する。無料。定員は300人。事前の申し込み不要。問い合わせは同大神経内科@044・977・8111(内線3154)。

国立がん研究センター中央病院・東病院、関東近郊がん診療連携拠点病院、全国看護学校、全国看護大学、全国大学医学部、NPO法人キャンサーリボンの関東近郊リボンズハウスに配布

がんになっても安心して暮らせる社会を目指して

がん患者さんの暮らしが広がる アイデア展2014

主催 独立行政法人国立がん研究センター 共催 NPO法人キャンサーリボンズ

入場無料 平成26年6月28日(土)・29日(日) 10:30~16:30
国立がん研究センター築地キャンパス 中央病院 ロビー (東京都中央区築地5-1-1)

がん患者さんが感じている、生活の不便さを解消するアイデアを集めたイベントです。今年は第3回を迎え、展示に新たなテーマ「働く」を追加しました。患者さんとそのご家族が快適に暮らすための様々なアイデア・工夫・情報のご紹介と、暮らしに役立つセミナーを開催し、皆さまとともに「がん患者さんの暮らし」を考えます。

会場の様子



「装う」コーナーの展示



コスジュンコさん トークショー



「やすらぐ」コーナーの手浴



抗がん剤治療教室



◆写真は昨年のイベントの様様

オープニングセレモニー

6月28日(土) 10:30~11:00 【ごあいさつ】 理事長 堀田知光 職員のお囀りによるオープニングコンサート

イベント

6月28日(土) 15:40~16:20 **トークショー** **ファッションデザイナー コスジュンコさん**
女性ががん患者さん支援を行う「ハートプロジェクト」活動の一環で、帽子のデザイン監修も行っているコスジュンコさん、おしゃれの魅力や患者さんの気持ちを引き立てる髪型について語ります。
当日先着順：着席70名(15:00より整理券配布)

6月29日(日) 15:45~16:15 **ファイナーコンサート**
山田邦子さん率いる「スター混声合唱団」
がん撲滅を目指して歌う合唱団が、歌と楽しいトークを皆さまにお届けします。元氣あふれるステージがイベントのフィナーレを飾ります。
当日先着順：着席70名(15:00より整理券配布)

協賛 味の素株式会社 アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社) エーヌ大塚製薬株式会社 花王株式会社
サンスター株式会社 株式会社ジャパンパル 株式会社スヴェンソン テルモ株式会社 ロート製薬株式会社

発行 株式会社イメディックス 片岡物産株式会社 QOL総合研究所株式会社

がんになっても安心して暮らせる社会を目指して

がん患者さんの暮らしが広がる アイデア展2014

主催 独立行政法人国立がん研究センター 共催 NPO法人キャンサーリボンズ

入場無料 平成26年6月28日(土)・29日(日) 10:30~16:30
国立がん研究センター築地キャンパス 中央病院 ロビー (東京都中央区築地5-1-1)

暮らしが広がる展示コーナー

生活シーンごとに、がん患者さんが感じている生活の不便さを解消する工夫や身近な製品、対処法などを紹介します。

- 食べる** 食欲がない、味覚が変わったときのお助けメニュー紹介、試食コーナー、口腔ケア、口漏れ対策グッズの紹介
- 装う** メイクアップ、頭皮ケア、スッキング、ウィッグ、帽子のお試しや使い方、乳がん手術後の補正下着の紹介
- 身体を動かす** 体の動きを助ける製品紹介
- 働く** 治療と仕事を両立するための生活情報の紹介
- やすらぐ** リラクゼーション 休息を助ける工夫
- 排泄** 排泄ケア、おむつ パッドの上手な使い方、皮膚トラブルなどのお悩み解決法
- リンパ浮腫** 弾性ストッキング、スリーブなど

※暮らしにすぐに役立つ、がん研究センターオリジナルの「生活の工夫カード」をお渡しします。




暮らしに役立つセミナー

国立がん研究センターのスタッフや協賛企業による、暮らしに役立つセミナーを開催します。すぐに生活に取り入れていただけるよう、わかりやすくアドバイスします。

- スッキング ● 頭皮ケア ● 口腔ケア
- 痛みを生かした食事の工夫
- リンパ浮腫のセルフマッサージ
- 抗がん剤治療教室
- コスメティックインフォメーション

パネルディスカッション

テーマ「**がんと働く**」

6月29日(日) 13:30~14:40
がん体験者・医師・看護師・ソーシャルワーカー・産業医をパネリストに迎え、それぞれの視点から、働きながら治療を続けるためのご意見を伺い、ディスカッションを展開します。コーディネーター 国立がん研究センターがん対策情報センター がんサバイバーシップ支援研究部長 **高橋 都さん** NPO法人キャンサーリボンズ副理事長 **岡山 慶子さん**

アクセス

- ◎ 都営地下鉄 大江戸線 「築地市場」駅A1出口から徒歩3分
- ◎ 東京メトロ 日比谷線 「築地」駅 2番出口から徒歩6分
- ◎ 都営地下鉄 浅草線 東京メトロ 日比谷線 「東銀座」駅 6番出口から徒歩7分

お車のご来場はご遠慮ください。できるだけ公共交通機関のご利用のお願いを申し上げます。



がんと暮らしの相談コーナー

国立がん研究センターの専門看護師や認定看護師などによる、「暮らし」に関する相談コーナーを設けます。どうぞ、お気軽にご相談ください。

がんの情報コーナー

がんについて信頼できる、最新の正しい情報をわかりやすく紹介する冊子や資料を展示します。

七タメッセージコーナー

短冊に願い事を自由に書いて、七タの巻飾りに飾っていただくコーナーです。

展示や各種セミナー、相談コーナーのご参加は自由です。コスジュンコさんトークショー、スター混声合唱団コンサートのみ、当日中央病院正面玄関で整理券を配布いたします。(整理券配布はコスジュンコさん 28日15:00~ スター混声合唱団 29日15:00~)

お問い合わせ がん患者さんの暮らしが広がるアイデア展 事務局(NPO法人キャンサーリボンズ内)
E-mail:ribbonz@ellesnet.co.jp TEL.03-3546-6101【受付時間：平日(土日祝除く)10時~17時】

がんになっても安心して暮らせる社会を目指して

がん患者さんの暮らしが広がる アイデア展 2014

ご来場者アンケート結果

2014年7月

調査期間 2014年6月28日(土) 29日(日)
回答者数 139名

イベント認知経路・ご覧になった展示やセミナー

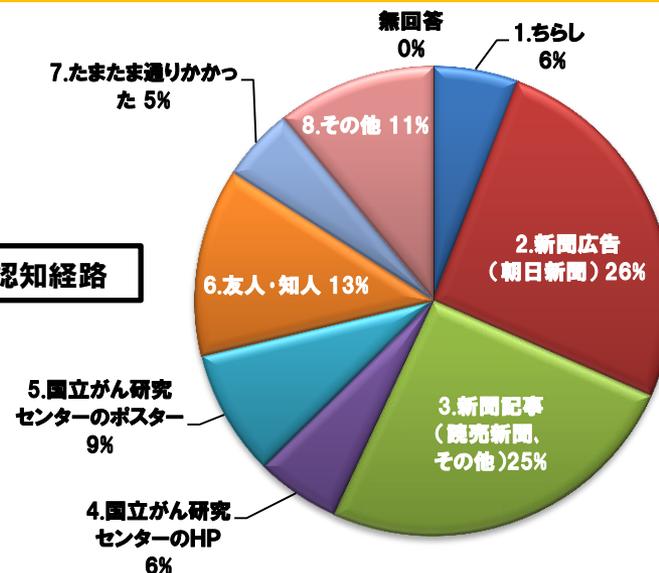
Q1. このイベントは何でお知りになりましたか

・イベント認知経路は最も多いのが「新聞広告(朝日新聞)」36人(26%)、次いで「新聞記事(読売新聞、その他)」が35人(25%)と、半数以上が新聞を通じてイベントを知った。「友人・知人からの紹介」18人(13%)、「その他」15人(11%)、「国立がん研究センターのポスター」12人(9%)、「国立がん研究センターのHP」8人(6%)、「ちらし」8人(6%)、「たまたま通りかかって」7人(5%)

・その他内訳

日刊薬業のイベント情報、通院している病院でポスターを見て、両親から、家族の勧め、神奈川県立がんセンターのポスター掲示、女性オストメイトの会の会報にちらしが入っていた、公民館カフェで、原千晶さん「よつばの会」ホームページ、外来で来て、ブログをみて、お見舞いに来て、NTT東日本関東病院ポスター

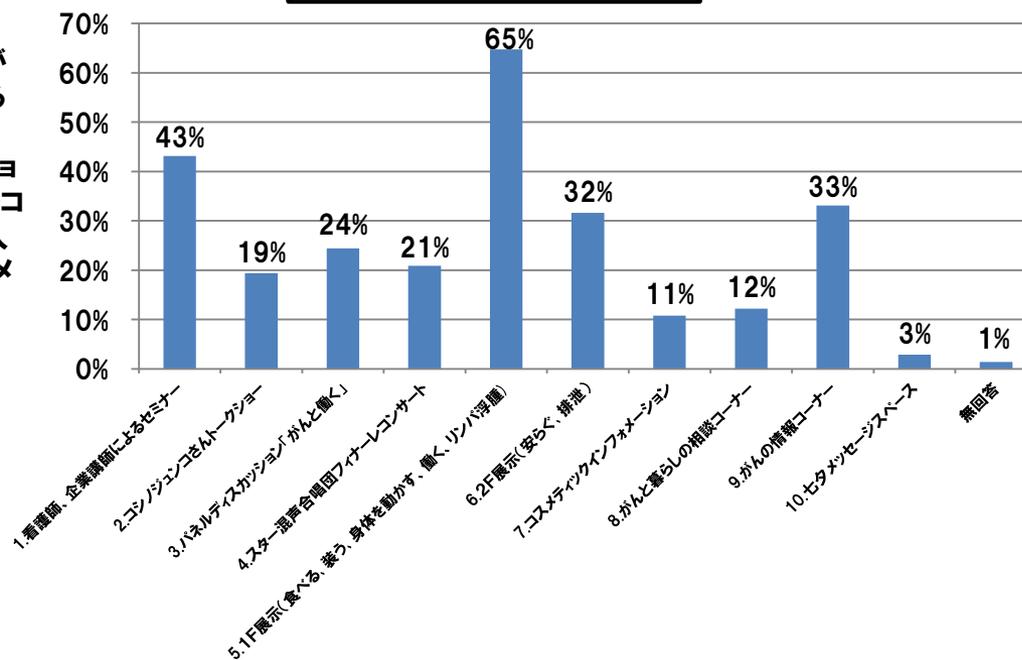
イベント認知経路



Q2. ご覧になった展示やセミナーを教えてください

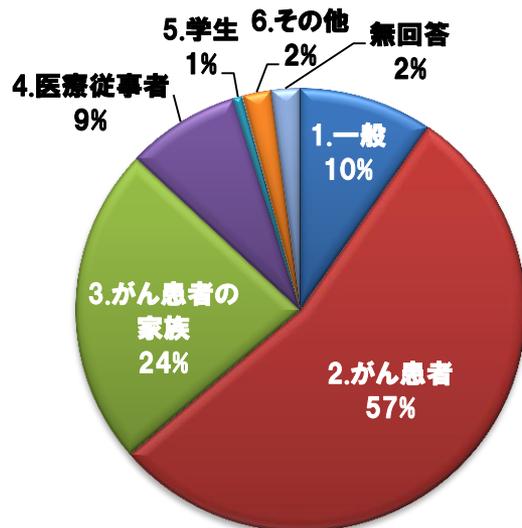
・「1F展示(食べる、装う、体を動かす、働く、リンパ浮腫)」が最も多く90人(65%)、続いて「看護師、企業講師などによるセミナー」60人(43%)、「がんの情報コーナー」46人(33%)、「2F展示(安らぐ、排泄)」44人(32%)、「『パネルディスカッション「がんと働く」』」34人(24%)、「スター混声合唱団フィナーレコンサート」29人(21%)、「コシノジュンコさんトークショー」27人(19%)、「がんと暮らしの相談コーナー」17人(12%)、「コスメティックインフォメーション」15人(11%)、「セタメツメッセージベース」4人(3%)

ご覧になった展示やセミナー

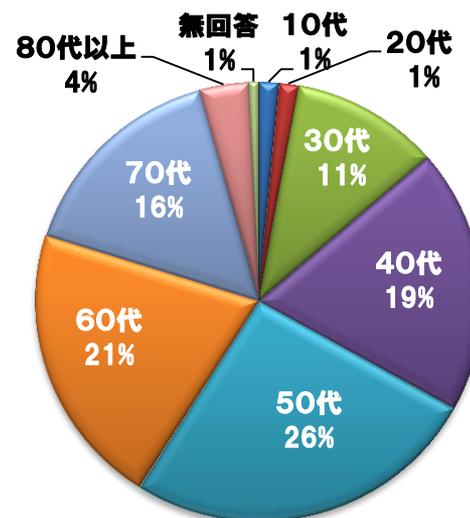


アンケート回答者プロフィール

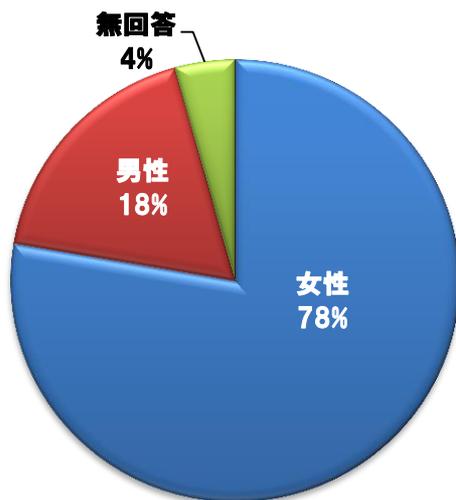
お立場



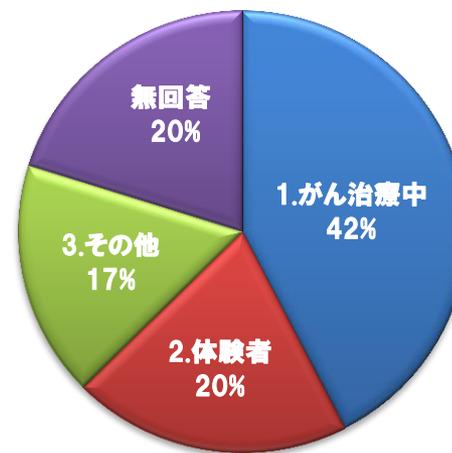
年齢



性別

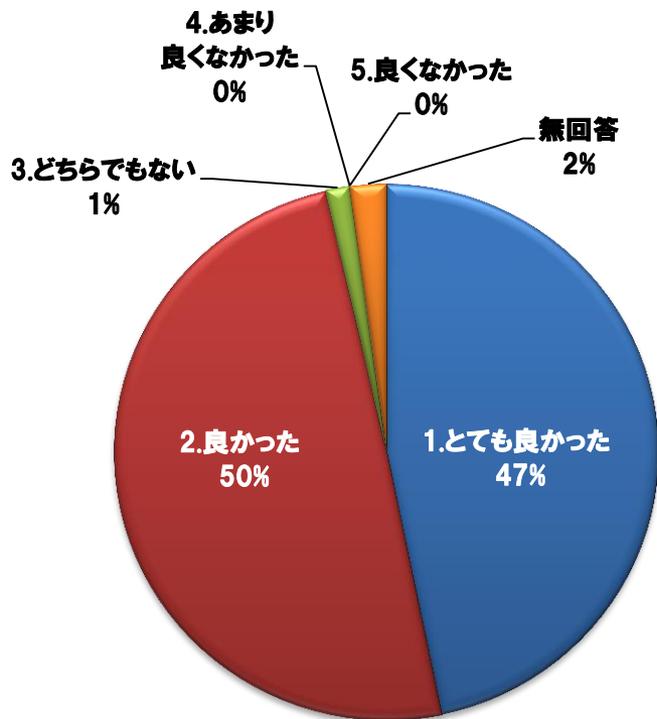


がんの経験について



回答者は40代～60代が中心、約8割が女性。参加者の約6割はがん患者さんであり、がんの経験については、約4割が治療中の方で、2割は体験者であった。

Q3. イベントの内容は、全体的に見ていかがでしたか。



イベント内容については「とても良かった」「良かった」で9割超と、大変評価の高いイベントであった。

感想

【がん患者さん】

- ・口腔ケア、食べる工夫などのコーナー、飲食に関する情報、一番の悩みであり参考になりました
- ・生活の工夫カードが欲しかったのでいただきました。こうすればよかったのかと思う事も多くあり良かったです。いろいろなブースをゆっくり見て回りましたが、どこもスタッフの方が話を聞いてくれたり、かなり役に立つ工夫を教えてくれたりして、来て良かったと思いました
- ・治療が終わったばかりで抗がん剤副作用で日々ふさぎこんでいたが、思い切って来て良かったと思いました。皆さん温かく声をかけてくださり、嬉しかったです
- ・具体的に商品を試食したり試飲して、香りや舌触り、味を体験できた。新しい情報を得ることができて、来て良かったです。素晴らしい企画です、続けて下さい
- ・オープニングコンサートでお世話になった看護師さんと一緒に歌えて楽しかったです
- ・現在ケアをしながらようやくアルバイトにつけたのですが、職場への発信の仕方など、がんと共生しながら働くことの情報欲しかったので、大変役立ちました。小児がんを患いながら就労している方がいたら、お話しを聞きたいと思いました
- ・展示が見やすかった。文字も大きく色使いも綺麗でした
- ・乳がんの下着に興味があり来院しました。セミナーを聴講しとても勉強になりました。家にいるより外出して、情報を得ることの大事さが分かりました
- ・どのブースでも対応が親切で嬉しかった。サンプリングが豊富で参考になる
- ・足湯を体験させていただきました。看護師さんが担当していると聞き、驚きました。ゆったりとした時間を過ごすことができ、ありがとうございます
- ・このようなイベントは初めての体験で、素晴らしいと思いました。普段忙しいナースの皆様、一般企業の皆様、お休みにありがとうございます。たくさんの情報とサンプルをいただけて良かったです。コシノさんのお話とても楽しく心が元気になりました

イベント内容 ②

【患者家族】

- ・家族のことで困っていたのでスタッフの方に色々教えていただき、とても良かったです
- ・コスメコーナーで眉毛の描き方を教えていただき、悩みが解消しました。紙おむつの素材が柔らかく驚いた。あいーとのちらし寿司が美味しかった。「がんと働く」パネルディスカッションの) 棕田さん、人見さんの話が心に残った
- ・ハレルヤ！いい言葉
- ・オープニングセレモニーのコーラスがとても良かったです
- ・知ることの大切さを教えていただきました
- ・ウィッグを試着できて良かった。優しく教えていただきました
- ・小腸がん末期の母のためになればと思い来ました。ごはんがたくさんある事を知って良かったです。スタッフの皆さん、とても親切で有り難かったです
- ・ボディケアなど使用しているものが分からなかったので、説明やサンプルがいただけたり参考になりました。「安らぐ」の展示でアロマの種類などももう少し詳しく教えていただけると嬉しい。抗がん剤をしている方が平気な香りが私にはわからないので
- ・日常生活に役立つ商品のご紹介をいただくことが有益でした
- ・大変有意義な催しで、もっと宣伝して多くの人に参加してもらいたい
- ・79歳の母が治療中です。多くの情報が得られ参考になりました
- ・ナースと企業の方の対応が丁寧で良かったです
- ・夫が膵臓がん末期で、現在治療を受けています。だんだん飲食が難しくなってきたので食べ物についてのアドバイスが欲しく来場しました。とても参考になりました

【医療従事者・一般の方・その他】

- ・病院の方が率先して作り上げていたのにはとても驚きました。日々のお仕事の合間にこんなに丁寧に作っていただいている、素晴らしいです。お疲れ様でした
- ・各ブースのスタッフの皆さんがとても親切でした。たくさんの患者さん、看護する人に優しい物品があって参考になりました
- ・体験者の、明るい気持ちを持つこと、周りへの気配りを忘れないことなど励みになることを学びました
- ・ナースの歌はとても良かった、また聞きたいです。ナースの皆さんの対応が素晴らしい
- ・様々なメーカーが入っていて、日頃知らないことを聞くことができ良かったです
- ・患者さんが知りたい情報が一度に得られて、とても良いと思いました
- ・分かりやすい内容でとても有意義な休日となりました。暖かく包み込むような雰囲気でした
- ・普段のお仕事だけでも大変なところ、患者さん支援のこのようなイベントを開催してくださり感謝しています。治療が最優先とはいえ、仕事や見た目に負ったトラブルや生活のしづらさはなかなか理解が得られず、また一人一人にあったサポートを考えてくれる団体や企業やサービスを探すのは大変です。今後も是非開催していただきたいです
- ・食べるコーナーは目からウロコでした
- ・全体的に学術的な難解なものではなく、大変身近なものを生活者の視点で取り上げていただき、良かったです